

# 県南保健所感染症情報

令和7年 第 9 週

令和7年2月24日 ~ 令和7年3月2日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況				国・県・県南 発生状況			基準値			
		県南保健所				第 9 週			警報レベル		注 意 レ ベル	
		7 週	8 週	9 週		全国	長崎県	県南保健所	開始	終息		
	インフルエンザ定点	1.88	1.00	0.75		1.89	0.93	0.75		30	10	10
	COVID-19	5.00	5.13	7.25		4.42	5.90	7.25				
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	1.20	0.80	1.40		1.27	0.98	1.40				
	咽頭結膜熱	0.20	0.20	0.00		0.25	0.34	0.00		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15.40	警報 21.40	警報 15.40	警報	1.95	2.84	15.40	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	4.40	2.40	2.20		9.83	9.82	2.20		20	12	
	水痘	0.00	0.00	0.00		0.25	0.18	0.00		2	1	1
	手足口病	0.00	0.00	0.00		0.05	0.02	0.00		5	2	
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00	0.00	0.00		0.57	0.11	0.00		2	1	
	突発性発しん	0.00	0.00	0.00		0.18	0.18	0.00				
	ヘルパンギーナ	0.00	0.00	0.00		0.01	0.05	0.00		6	2	
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.00	0.00	0.00		0.04	0.00	0.00		6	2	3
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	1.00	警報 0.00	4.00	警報	0.04	0.50	4.00	警報	1	0.1	
	流行性角結膜炎	3.00	警報 9.00	警報 2.00		0.73	0.75	2.00		8	4	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00		0.03	0.00	0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00		0.02	0.17	0.00				
	マイコプラズマ肺炎	1.00	1.00	1.00		0.36	0.50	1.00				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00				
	感染性胃腸炎(ロタウイルスであるものに限り)	0.00	0.00	0.00		0.15	0.08	0.00				

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇ ※報告日掲載 (県作成速報:診断日掲載)

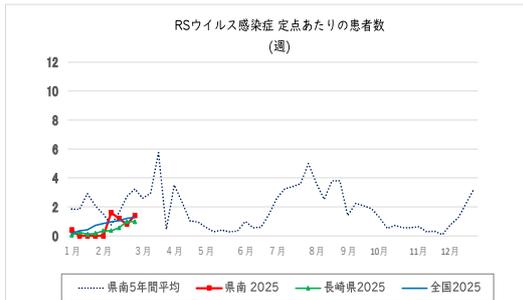
一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第9週】 百日咳 患者1名(10歳未満・女性) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 患者1名(70代・女性)

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆RSウイルス感染症が増加傾向にありますので注意しましょう。

RSV感染症は、乳幼児に多く認められる急性呼吸器感染症です。潜伏期間は2~8日であり、典型的には4~6日とされています。生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の人がRSVの初感染を受けますが、再感染によるRSV感染症も普遍的に認められています。さらに、RSV感染は乳幼児だけでなく、慢性呼吸器・心疾患を合併する高齢者でも下気道感染を引き起こし、入院・死亡の主要な原因となります。通常感冒様症状を呈し自然軽快すると考えられていましたが、介護施設などでの集団発生の原因にRSV感染の関与が指摘されるだけでなく、高齢者でのRSV感染症はインフルエンザと同等の致命率を引き起こすことが示唆されています。入院加療が必要なRSV感染患者は、慢性呼吸器疾患を合併している高齢者の頻度が高く、肺炎を発生すると予後が不良です。

感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品等を介した接触感染が主なものです。特に、家族内では、飛沫感染、接触感染を介して、RSウイルスが伝播しやすいので、家族内にハイリスク者(乳幼児や慢性呼吸器疾患等の基礎疾患を有する高齢者)が居る場合、罹患により重症となる可能性があるため、適切な飛沫感染や接触感染に対する感染予防策を講じることが重要です。飛沫感染対策としてのマスク着用や咳エチケット、接触感染対策としての手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底してください。



☆眼科定点把握疾患に注意しましょう。

流行性角結膜炎は終息レベルとなりましたが、急性出血性結膜炎は警報レベルとなりました。急性出血性結膜炎は激しい出血症状を伴う結膜炎です。突然の強い目の痛み、異物感、羞明などで始まり、結膜の充血、特に結膜下出血を伴うことが多く、眼瞼浮腫、眼脂、結膜濾胞、角膜表層のび慢性混濁が高頻度に見られます。感染予防には流水下で手指を石鹸で十分に洗うこと、タオルなどの共用を避けることが重要であり、ウイルスで汚染した器具や物品は、煮沸や塩素剤(オーヤラックス、家庭用塩素系漂白剤など)を使用し消毒するように努めましょう。